

六甲山系に生息するチョウとのふれあい
・「生命(いのち)と育ち」を感じる体験や
チョウによるまちづくり活動

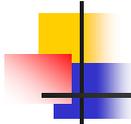
令和2年度自然保護指導員研修会資料



兵庫県自然保護指導員
環境省環境カウンセラー(環境教育・自然観察)
自然体験活動支援「シニア種まき隊」代表

橋本 敏明

橋本の経歴:1951年姫路市北部の農村で育った昆虫少年。1970年に神戸市へ転居してから長田区在住。元兵庫県職員。学生時代から、ボランティアで自然環境体験活動を継続中。著書に、「自然はおもしろい 不思議がいっぱい！西神戸の自然歳時記」。



活動発表の話題の流れ

1 神戸・六甲山系に生息するチョウとのふれあい

- 生息するチョウや食草の概要
- チョウの標本による解説
- 実践記録「六甲山のチョウとなかよくなろう」
会場：県立六甲山ビジターセンターでの展示・イベント

2 「生命(いのち)と育ち」を感じる体験活動

- 活動の原点は、阪神・淡路大震災・チョウをテーマにした理由
- 「アゲハの一生」で身近に体験
- 実践記録「チョウとのふれあい体験」

3 チョウによるまちづくり活動

- 長田区五位ノ池町小公園の実践から
- 長田区南部の地域での実践から
- 獅子が池ふれあい市民緑地活動の支援
- 実践記録「チョウを呼ぶ庭づくりの事例」

神戸・六甲山系には80種類を越すチョウが生息。
チョウの幼虫は、特定の種類の植物をエサにする(食草)

- 神戸・六甲山系は、海や川、山や平野などが集まる多様な自然環境が市街地近くにある。これに伴い、植物相も多様である。
- 日本では、240種類のチョウが生息しているが、この地域に3分の1が生息しており、チョウのふれあいや観察に最適地。

- 神戸市域の空撮から



左下写真は、神戸市域を空撮したもので、南は大阪湾の海から六甲山の北方まで広がり、多様な自然環境を有し、80種類を越すチョウが生息。

右下写真は、六甲山系に生息するすべてのチョウをテーマ毎に分類した標本箱で、橋本が所有。

神戸・六甲山系に生息するチョウとその分類。

※パンフは六甲山ガイドハウスで配布中

○アゲハチョウ科(「神戸・六甲山系の蝶と食草Ⅱ」※ のパンフ01～09照)

多くの後ろばねに尾状突起というしっぽのように伸びた部分がある。大型のチョウが多く、花によく集まり、花の蜜を吸うときは、羽を「揚げ」たまま、常に羽ばたいている姿から名前の由来。

○シロチョウ科(同上のパンフ10～14参照)

明るい色彩をした中型のチョウで、白や黄色のものが多い。明るい場所で活動するものがほとんどで、人間のすむ場所に見られる身近なチョウ。幼虫は「青虫」とよばれる。

○シジミチョウ科(同上のパンフ15～27参照)

小さなかわいらしいチョウが多い(貝のシジミぐらいの大きさで殻の光沢も似ていることから名前の由来)。オスが青く、メスが黒っぽいものが多い。触角がまだら模様で目が大きいのが特徴。

○タテハチョウ科(同上のパンフ28～53参照)

はねを立てるチョウの意味で、タテハ類、ジャノメ類、マダラ類、ヒョウモン類など種類が多い。前脚が小さく、一見4本足に見える。花の蜜を吸うものが多いが、樹液、果実、動物の死がいやふんからも汁を吸う。

○セセリチョウ科(同上のパンフ54～62参照)

小型のものも多く、腹が太く羽が3角形で小さいのが特徴。長い口吻を持つものが多く、その口でつつき(せせり)ながら吸引するのが名前の由来。飛翔筋が発達し、早いスピードで直線的に飛ぶものが多い。

「神戸・六甲山系の蝶と食草Ⅱ」のパンフを参考に、説明。このパンフは、兵庫県神戸県民センターが印刷したもので、特色は、各チョウと食草を拡大写真で並列し、成虫の活動時期、見る機会の多さなどがコンパクトに記載され使い勝手が良い。



六甲山に生息チョウをテーマ別に整理された標本箱は、チョウ仲間の神戸市北区の地域のチョウ採集家「故平尾栄治さん」から、チョウのふれあい体験学習用に、テーマごとに整理したものを12箱を譲りうけた。

アゲハチョウの仲間は、六甲山系に生息するのは11種。



タテハチョウ科は、とても種類が多く、タテハ類、ジャノメ類、マダラ類、ヒョウモン類のグループに分かれている。六甲山系に生息するのは33種。



前記のチョウ以外で、六甲山系に生息するチョウの種類の内訳。シジミチョウの仲間 22種、シロチョウの仲間 6種、セセリチョウの仲間 12種。



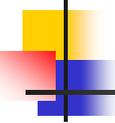
特色あるチョウの標本(大小、季節型)

大は、ミヤマカラスアゲハ(左上)、モンキアゲハ(左中)、ナガサキアゲハ(左下)。小は、ルリシジミ(写真左下)、ヤマトシジミ。

同じチョウでも、季節によって模様が変わる(斑紋や大きさの違い)、アゲハ・キアゲハ一冬眠して蛹から出た春型は小型で、夏型は、濃く2倍くらい。

神戸市内のチョウの宝庫

北区の帝釈山(たいしゃくさん)



帝釈山の遠望

- 六甲山系の北西部、北区の山田の里に位置し、自然植生が多く残り、食草や吸蜜植物が多い。
- 平尾さんのチョウ観察の拠点であり、標本箱にあるチョウも多くはここで採集された。
- チョウ観察コースのおすすめは、ふもとの帝釈鉦山道。



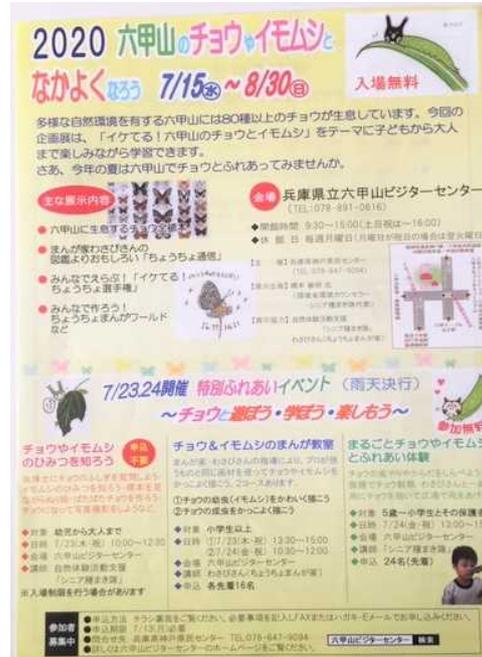
神戸市内でおすすめのチョウの観察地は、六甲山系の北西部にある帝釈山のふもと。

観察コースは、山田町坂本から入り丹生神社参道の途中から分岐している帝釈鉦山道（昔 銅が産出）が、歩きやすくて良い。

実践記録

「六甲山のチョウやイモムシとなかよくなるろう」

場所：兵庫県立六甲山ビジターセンター
 神戸市灘区六甲山町北六甲
 主催：兵庫県神戸県民センター
 展示企画：橋本敏明（兵庫県自然保護指導員）



開催の目的は、六甲山系に生息するチョウのひみつやおもしろさを、子どもから大人まで「楽しみながら学ぶこと」ができる内容の展示。

実物とのふれあいや創作活動により、チョウを通じて「生命の不思議さやすばらしさ」を体験する機会の提供。

2020年7月15日～8月30日 特別展示企画(会場:六甲山ビジターセンター展示室)



関心を呼んだ会場入口付近の展示状況



メイン企画「イケてるちょうちょ選手権」



子どもに好評の「ちょうちょまんがワールド」



チョウの一生やイモムシの体をパネルで解説

特別展示の内容は、六甲山に生息するチョウ全標本箱に入れ。"ちょうちょまんが家わさびさん"の協力を得て、主なチョウの生態・魅力をアピールしたまんがを見ての人気投票。

チョウやイモムシの下絵にぬり絵をし、セリフを書きパネルに貼っていくなど入場者が参加できる展示など。

特別ふれあいイベント ～ちようと遊ぼう・学ぼう・楽しもう
実施日:2020年7月23日(祝)。24日(祝)



かやの中で、チョウにみつやり体験



キモかわいい！イモムシとのふれあい



顕微鏡などでチョウの観察



お面やはねをつけチョウになりきり

ふれあいイベントの主な企画内容。虫博士にチョウのふしぎを質問しよう。成虫への蜜やり体験や幼虫(イモムシ)とのふれあい。ぱたぱたチョウをつくろう。チョウの体を拡大して見るなど。「生命の不思議さやすばらしさを」体験する機会を提供。

特別企画 チョウ&イモムシのまんが教室

講師:わさびさん(ちょうちょまんが家)



講師からチョウをカッコよく描く方法を学ぶ



プロが使う画材を使い描く方法の伝授



下絵をもとに、チョウを描き罨の制作



チョウのまんが教室の作品を持ち集合写真

まんが家・わさびさん(横浜在住)を講師に、プロが使うものと同じ画材を使ったまんが教室。①
チョウの幼虫(イモムシ)をかわいく描こう。②成虫をカッコよく描こう。
下絵をもとに罨にチョウを描いて罨をあげようなど。

1995年 阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)が、
神戸を直撃し、壊滅的な被害。
行政や住民が、復興・まちづくりに立ち上る。



五位ノ池から新長田駅方面の火災の様子



同左ガレキ撤去後の状況

私たちは
「自然との共生」・
「命の尊さ」をテー
マにした活動開始



復興の象徴? 鉄人28号原寸大モニュメント像



チョウも喜ぶ花緑の寄せ植え講習会(新長田駅前)

私のこれから説明する活動の原点は、阪神・淡路大震災の体験。自宅は長田区の北部にあり全壊。この写真のように南部地域が火の海になった状況を見る。

この体験を踏まえ、自分ができる活動として「自然との共生・ふれあい体験」活動を継続中。

自然とのふれあいは、心と体を豊かに育てる ⇒
～子どもの頃の自然体験は人生の基盤～

身近に「命と育ちが体験できる」チョウをテーマに

人は自然の中で遊ぶことによって、**五感(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)の発達**が促される。また、自然体験が多い青少年の中には、「**道徳観や正義感があり、学習意欲・課題解決意欲が高い青少年が多い**」という報告(2007年中央教育審議会答申より抜粋)

⇒子どもの育ちは、**幼児期からの体験の基**に成り立っているとし、2008年に公示された、**国の学習指導要領**では、**「実感を伴った理解」**が重要であると明記された。

⇒大変美しく身近な生き物で、**小学校やこども園**などで学ぶ「**チョウを主役に**」設定

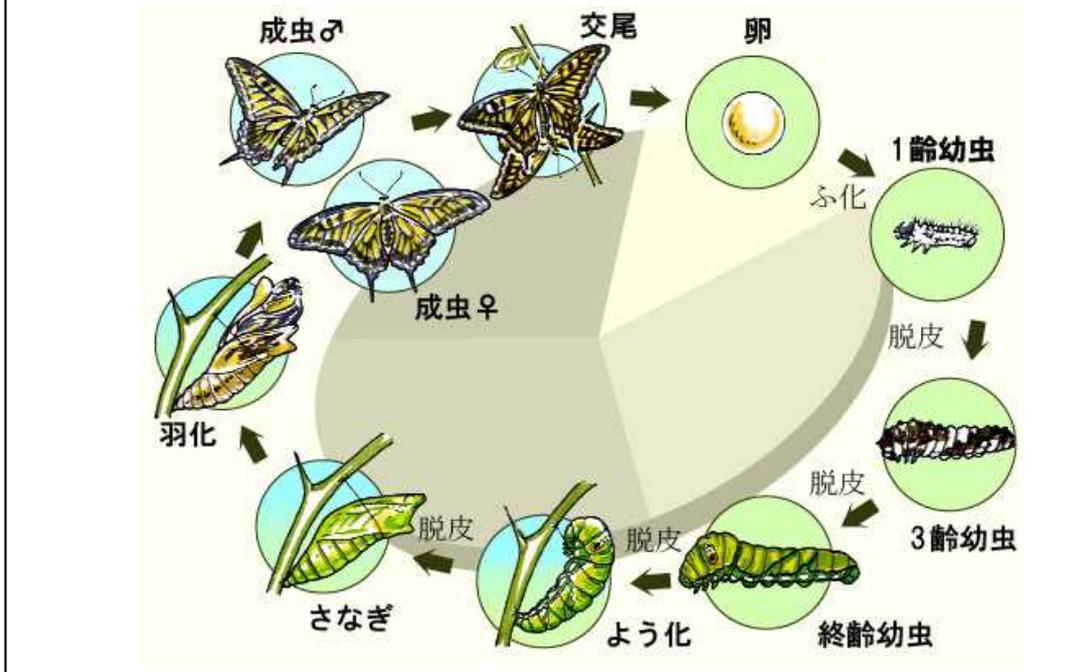


学習指導要領には、小学校や幼児期に「**実感を伴った理解**」が加わり、自然体験などの機会を与え、実際に感じて理解させることの大切さが強調された。

しかし、学校・園の授業だけでは不十分なので、当方などに実施依頼が来ている。

チョウは「いのちと育ち」を身近に体験できる！

アゲハの一生のサイクル図



食草(餌)となるミカン科の植物は、公園や庭に植えられていることが多いので、アゲハは、都会でも身近に観察できる。

この略図は、ナミアゲハで卵から成虫になり死ぬまで60日ぐらいを1サイクルとして、これを1年に4~5回繰り返す。

アゲハの「いのちをつなぐ」ための工夫～写真で見ると
アゲハは、60日ほどで一生涯を観察できる。



交尾後3日で産卵
産卵からふ化まで
5～7日



ふ化:卵から幼虫が出てきて
まず自分の殻を食べる



黒茶の幼虫(1～4令):鳥のふんに
よくなる。4回の脱皮を繰り返す

成虫の寿命は約3週間



産卵:食草のミカン科の植物の葉に
球形の卵(1mm程)を産み付ける。

ふ化から幼虫(4回脱皮)～
さなぎまで約3週間



さなぎから羽化
まで約2週間



さなぎ:幼虫から成虫へと
体を作りかえる期間



緑色の幼虫(5令):ミカン科に似た黄緑色
に変わり驚いたらツノやにおいを出す

羽化:さなぎの背中から翅が現れ、
翅をのばして成虫になる

作成:橋本 敏明(環境カウンセラー)

チョウは、卵⇒幼虫⇒さなぎ⇒成虫と姿を変えて成長する(完全変態という)。ナミアゲハについて、写真の拡大図で「いのちと育ちをつなぐための工夫」を説明する。このように、2カ月ほどで理解することができる。

実践記録

3年生理科の出前授業の様子(アゲハの羽化観察を中心に)

神戸市立真野小学校(長田区)3年生 2時間



アゲハの生態 創作アニメ「くいしんぼうのナミオ」を鑑賞



教室の中でカヤの中にチョウを放しみつやり体験



羽化抑制し、サナギから成虫になる様子を授業中に観察



アゲハなどの卵・幼虫・サナギを实物で体験

全国の3年生が理科の授業で「チョウの育ち」を学習する。真野小学校は、3年生が20名程度と少ないので、実際にチョウとのふれあう体験が実施できた。

2班に分かれ、サナギから幼虫になる羽化の瞬間に立ち会わせ感動的な体験を得た。

サナギから羽化するまでの瞬間の写真



前よう(さなぎになる前の形)の写真

⇒



①サナギから羽化へ連続写真

④余った水分をすて、翅が固まるのをまち、じっとしている



③腹の体液を翅に送る



②全身が現れるが、羽はクシャクシャ



⇐

羽化直前は、羽の模様が黒く透けて見える。(上段右写真の左側)耳型のつけ根から横に裂けめが入り、次に縦に裂けて頭から出はじめる。

この間1分足らず。脚が出て何かにしがみつこうとし、枝に移り、たたまれていた羽が伸びるのを待つ。

羽が伸び切って飛ぶまでには、羽化終了から3時間程かかる。



チョウとのふれあい用カヤ(2m×3m)



カヤに入り蜜を与えながら観察



3年生理科「チョウの学習」の実物を教材に



こども園児に5令幼虫のツノだしを見せる

具体的に報告すると、カヤの支柱は、自立式の屋外用テント支柱を活用。小学校3年生の理科「チョウをそだてよう」は、本物を持参し出前授業（左下）。5令幼虫は、触るとツノを出し、臭いにおいを出すので、子どもは興味津々（右下）。



わが家の庭(チョウの食草・吸蜜植物を植栽)



チョウの飼育室(専用の冷蔵庫もある)



個別飼育ケースで記録・管理



成虫になったのをめりえ用の標本に活用

チョウとのふれあいで大事なものは、チョウと幼虫の確保で、それ用に自宅で確保・養育。庭には、いつも多くのチョウが舞い、交尾をして卵を産める環境を確保。

自宅にチョウの飼育室を設け。チョウ専用の冷蔵庫を購入し、野菜室(温度8度程)で成虫やサナギを休眠させながら活用。

3 チョウによるまちづくり活動

私の体験から、まちづくりとは！

⇒自分たちの手の届くところから取り組む

- ① みんなで楽しく元気に
- ② きれいになったと目に見える
- ③ 工夫を重ね、仕組みづくり
- ④ 持続して、未来に向けて
- ⑤ 行政・企業などと連携・協働



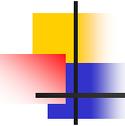
イラスト：ひょうご花緑創造プランより

⇒ **小さな取り組みでもよいから、まず実行。**
できることを実感し、地域にとってふさわしいものに

私が実践している「チョウによるまちづくり活動」についての報告。ここでいう「まちづくり」とは、行政や専門家主体となる都市計画などのハード面ではなく、活動の創意工夫のソフト面。まちづくりには課題が多いが、自分たちの手が届くところから取り組む。

五位ノ池町小公園の実践から(その1)

チョウを公園のシンボルにかけ、「住民が集い、草花やチョウとも親しめる公園」を目指す。



- 1 水やりと清掃活動は、会員持ち回り制の導入(当番表やマニュアルの回覧、散水ホースの導入など工夫)
- 2 助成金や協賛金の受領のための工夫
- 3 子どもが率先して公園づくりに参加するよう
毎回、花苗植え、肥料やりなどの役割を与える。
- 4 チョウが好む食草や蜜源植物に植えかえ。
- 5 楽しく親しめて地域貢献できる要素を導入
地域住民も参加の「ちょうちょまつり」の開催
- 6 毎月一緒に作業し、終了後は、子どもは群れて遊び、親は世間話で交流。



公園が「ながたのキレイなところに選定」
2020年度(夏のゴーヤと草花)



ちょうちょまつりやそうめん流しで交流

私が、神戸市立公園の管理会の会長をしている長田区の五位ノ池町小公園の取り組みや工夫を列挙。

最初は、「花とチョウをテーマにした公園に」と呼びかけ会員募集。新居30世帯の内18世帯が参加希望し、総会員数32世帯。子どもたちを主役にした活動。

五位ノ池町小公園の実践から 取組みや工夫(その2)

- 7 チョウが好む草花を会員の庭先でも育て、きれいな住環境づくり。(寄せ植用の鉢を配付し、ミカンやキンカン、秋にはパンジー、春にはジニアの花苗を提供)
- 8 四季を通じた生きた環境学習の場の提供。
(チョウと食草の生態展示)
- 9 出前教室「チョウとなかよくなるう」用のチョウの飼育(こども園・小学生などへ持参し原体験用)
- 10 草花に名札(花期、花言葉含む)を付け親しみ。
- 11 公園を通じて、顔の見える関係になり地域の防犯対策に貢献。
- 12 元気に散歩に来やすく、憩いの場の提供。



会員に配付のチョウの好きな植物の寄せ植鉢



近所のこども園から自然観察によく来ている

会員宅の庭は狭いが、アゲハの仲間の好む、食草や吸蜜植物を植えた寄せ植え用の鉢を配付し、点から線へチョウの道ができることをめざす。

庭や公園にチョウが来るようになると、自然や生き物たちの関りや営みが身近に見えて、楽しくなる。

五位ノ池町小公園(長田区)
の状況



毎回多くの会員が活動に参加



子ども主体、三世代で行う定例作業

入口の立て看板



活動の状況。毎月第1日曜日は、多数の幼児や親子が定例作業に参加し、和気あいあいで交流。

特に子供たちに、草花の植え付けなどの役割を担ってもらい、公園に遊びに来た際に、自分の植えた植物が観察できるように配慮。

兵庫県人間サイズのまちづくり賞 のまちづくり賞 知事賞 花緑部門受賞

人間サイズのまちづくり賞
花緑部門

五位ノ池町小公園美緑花クラブ様

賞団体は優れた活動に取り組み
安全で安心な魅力あるまちづく
りに大きく寄与されましたその功
績を讃えこれを賞します

平成二十八年十二月十九日
兵庫県知事 **井戸敏三** 謹印

2016年(平成28年)11月7日 月曜日 第4頁 神戸新聞

UHE地域

チヨウが結ぶ住民の絆



六甲山東部の熊取山を流す神戸市長田区の五位ノ池町段々田地区の一角にある小さな公園。チヨウの結ぶ住民の絆が、まちづくりの核となっており、草花を植えて、色とりどりに彩る。多様なチヨウが、地域に活力を生み出している。

日曜の朝、約40人が「五位ノ池町小公園」に集まった。幼い子から働き盛りの世代まで、チヨウの結ぶ草花を公園に植える。一面の庭園が、色とりどりに彩られる。チヨウの結ぶ草花は、パンジーやアジサイ、スミシロの花、黄色いアジサイ、黒いアジサイなど、色とりどりに咲き誇る。チヨウの結ぶ草花は、まちづくりの核となっており、草花を植えて、色とりどりに彩る。



五位ノ池町
五位ノ池町小公園

草花植えて「舞う街計画」

参加者の一人、赤井健一氏。成る市の制度を活用し、花の木の苗を購入し、「ただ、公園には花を植える人がいない」と、公園に花を植える活動を開始した。苗を植える活動は、まちづくりの核となっており、草花を植えて、色とりどりに彩る。

五位ノ池町に生息するチヨウの標本を見せる標本職人 朝日新聞朝刊「まちづくりの好事例」として紹介され、視察者が訪れている。

これまでの活動が評価され、2016年12月兵庫県が主催する「人間サイズのまちづくり賞」のうち、新設された花緑部門の知事賞3点の一つに選定。
また、朝日新聞朝刊に、「まちづくりの好事例」として紹介され、視察者が訪れている。

長田区南部の地域での実践から

JR新長田駅前・六間道などで
チョウの好きな草花の植栽活動

第4回 チョウも喜ぶ花壇づくり講習会(2) 庄田町3丁目防災空地 R.2.11.7.

新長田駅前の「チョウの好きな植物の寄せ植え鉢」の配置

2020年(令和2年)11月17日 火曜日

コウバ 東西南北

■チョウが集まる街づくり
チョウが舞う長田を自指し
て、長田区庄田町の防災空
地でのついで、チョウも喜
ぶ花壇づくり講習会が開か
れた。写真
地域の若者有志でつくる
「ロケットカレッジ運営委員
会」と「五立ノ池町小公園美
緑クラブ」が主催。フワフ
ワ「コトネ」を講師に
迎え、チョウの好きなミカン
科の食草植物や蜜が絶えな
いように異なる季節に花が映
く植物を植える工夫を学ん
だ。参加した住民約20人は同空
地でバジールを植え、花壇を
完成させた。今後は「レス
付き高齢者向け住宅」はつひ
の家つげんの住民が
世話をする。同クラブの橋本
節明代表(69)は「子どもたち
がチョウを通して生き物で
れあうことができると話
した。(小谷千穂)

長田区役所の住民参画によるまちづくりを推進する「地域づくり活動助成」を受け、「長田をチョウ舞うまちに」の活動を行い、「アゲハなどチョウも喜ぶ花壇づくり講習会」などを実施。
JR新長田駅前には、その成果物の「寄せ植え鉢」を配置して、地域に潤いを育てている。

獅子ヶ池ふれあい市民緑地 面積約5.8ha (内池2.0ha)



獅子ヶ池は、長田区の北部にあり、震災後は、ゴミの不法投棄によりひどく汚れていた。地域住民や行政による清掃活動や環境整備が継続して実施され、私も活動に参加。池の特徴をうまく利用した「とっておきの自然観察地」になる。

獅子ヶ池(長田区)の活動を自然環境学習などで支援



獅子ヶ池での様々な活動写真。左上の写真は、月1回の清掃活動の様子。右上は、地元の小学校の3年生の総合学習の指導の様子。左下は、雲雀ヶ丘中学生を対象にした池の生き物の解説。右下は、トンボの観察会の様子。

実践記録 チョウを呼ぶ庭づくりの事例

バタフライガーデン(チョウの庭)とは！

バタフライガーデンの三要素

チョウの習性を知り、植物を選ぶ。自然環境も考慮する。

- 1 食草・食樹 {幼虫} 2 蜜源(吸蜜)植物 {成虫} 3 日照・気温・防風



橋本宅のチョウの庭

チョウを庭に呼ぶことで心の安らぎを得、また自然を回復しようというバタフライガーデンの試みは、50年ほど前にイギリスではじまる。

わが家の庭は、この三要素を取り入れ整備して、チョウが生息できるよう幼虫の食草を植え、蜜の多い草花を植えてモデルになるよう努めている。

チョウを呼ぶ庭づくりの基本 1

幼虫のえさとなる植物 (食草)を植えよう

○チョウの幼虫は特定の植物を食べて育つ。近所の公園や庭のチョウの生息状況を調べ、その好む植物を植えるのが近道

○都市部の庭ではチョウが少ないことから食草を植える。周りに自然が豊かな場合は、蜜源植物を植えることに重点を置く。

○チョウの幼虫は、新しい葉を好むため、ミカン科、クスノキ、エノキなどの樹木は、定期的に思い切って剪定することで、新芽が出て、チョウが産卵しやすくなる。



写真の食草とチョウの関係 右上から ミカン類ーナミアゲハ。パンジーツマグロヒョウモン。
ユキヤナギーホシミスジ。ウマノスズクサージャコウアゲハ。
クスノキーアオスジアゲハ。ホトギスールリタテハ。カタバミーヤマトシジミ。エノキーゴマダラ
チョウ、テングチョウ

チョウを呼ぶ庭づくりの基本 2

蜜源(吸蜜)植物を 植えよう

- 春～夏まで、花が絶えないよう花期の長い花を次々咲かすように植える。赤、白、黄色に集まりやすい傾向がある。
- きれいな園芸種よりは野生の花がよい(園芸種は改良され蜜の出が少ない)
- 大きい花よりは、小さな花がついた集合花が好き。コデマリ、ムシトリナデシコ、タンポポ、クローバー、ハルジオンなど
- 樹液や果実に集まるチョウもいる。バナナなどの発酵した果物を置いたり、カキやイチジクを植える。



庭に植えたいチョウの蜜源植物の例。写真の右上から ツツジ類、マリーゴールド、コデマリ、ムシトリナデシコ、ジニア(ヒャクニチソウ)、アベリア、オミナエシ、フジバカマ。年間を通じて花が咲くように配慮するのがポイント。

チョウを呼ぶ庭づくりの基本 3

生きもののすみやすい 多様な環境にしよう

○チョウは庭全体を利用する

チョウがすみやすい庭には、多様な環境が備わっていることも必要。手入れは、生き物に気をつけながら、適度に行う。

○チョウの幼虫は多くの天敵に狙われる

一様な環境では、幼虫はすぐに天敵に食べられてしまう。多様な植物を分散して植える。

○殺虫剤や農薬などの使用は避ける

チョウの幼虫や有益な虫なども死んでしまう。

○生物多様性に配慮し、保全につなげる

チョウだけでなく、鳥や虫等もすすめる庭づくり
特に、特定外来種オオキンケイギクが問題



五位ノ池町小公園



チョウの幼虫を鳥から守るため袋かけ



オオキンケイギク

チョウの庭づくりが地域の自然環境の保全にも役立つよう、チョウだけでなく多様な生き物が生息する公園・庭づくりにする。最も重要なのは、殺虫剤を使わないということ。

以前園芸植物として利用されていたオオキンケイギクやブッドレアなどの特定外来生物に注意。

学びと遊びのバタフライガーデン
蝶々夫人の庭

この庭は、様々なチョウを呼び寄せる、幼虫の餌となる植物や、吸蜜できる花が植えてあります。季節ごとに見られる可憐なチョウをお楽しみください。

主なチョウの食草

チョウは、種類ごとに幼虫の餌となる植物がだいたい決まっています。よって食草を探せば、そのチョウとの出会いも多くなります。

| チョウの種類 | 食草・食樹 | チョウの種類 | 食草・食樹 |
|-----------|----------|-----------|--------|
| ジャコウアゲハ | ウラボシ | ペニシジミ | スイバ |
| アオスジアゲハ | クスノキ | ヤマトシジミ | カタバミ |
| アゲハ | サンショウ | ルリシジミ | ハギ |
| キアゲハ | フェンネル | テングチョウ | エノキ |
| ナガサキアゲハ | ミカン | ヒメアカタテハ | ヨモギ |
| モンキアゲハ | カラスザンショウ | アカタテハ | カラムシ |
| クロアゲハ | カラタチ | ルリタテハ | ホトトギス |
| カラスアゲハ | サンショウ | イシガケチョウ | イヌビロ |
| モンシロチョウ | セイウカラシナ | ツマグロヒョウモン | スミレ類 |
| キチョウ | ネムノキ | ミスジチョウ | イロハモミジ |
| モンキチョウ | シロツメクサ | ホシミスジ | ユキヤナギ |
| ムラサキシジミ | アラカシ | アサマイチモンジ | スイカズラ |
| ウラゴマダラシジミ | イボタ | ゴマダラチョウ | エノキ |
| ミスイロナガシジミ | クヌギ | クロノマチョウ | ジュズダマ |

チョウの好む取蜜植物は、フジバカマ、ブッドレア、クサギ、オカトラノオなどがあります。

蝶の生活史

昆虫は大人と子どもで大きく姿を変えます。チョウも幼虫はイモ虫で成虫の華麗な翅からは想像が付きません。

神戸市立須磨離宮公園の植物園側の東入口にあるバタフライガーデンの立て看板。ここは、元天皇家の別荘があったため、自然環境が保全されチョウが多い。

生息するチョウと食草を解説したプレートなどもあり、バタフライガーデンづくりの参考に見学に行かれることを勧めます。

資料を最後までご覧いただき
ありがとうございました。

毎日新聞
2019年(令和元年)9月14日(土) 淡路 神戸 兵庫 20

県立六甲山ビジターセンターであった「総選挙」の様子
—橋本聡明さん提供

六甲山でチョウ総選挙

ミヤマカラスアゲハ 喜びの1位

今年、県立六甲山(兵庫県六甲市)の六甲山系で実施された「チョウ総選挙」の結果が発表された。ミヤマカラスアゲハが、1位の栄冠を手にした。

六甲山のチョウ総選挙は、毎年、県立六甲山ビジターセンターで実施されている。今年も、9月14日(土)に、今年最後の総選挙が行われた。当日は、多くの観客が訪れ、投票した。結果は、ミヤマカラスアゲハが、1位の栄冠を手にした。

ミヤマカラスアゲハは、体長約10センチ、翅の裏側に黒い帯が入る。幼虫は、黒い体に赤い点がある。成虫は、黒い翅に赤い帯が入る。ミヤマカラスアゲハは、六甲山系で多く見られるチョウの1種である。

総選挙の結果は、以下の通りである。

| | |
|-----|-----------|
| 1位 | ミヤマカラスアゲハ |
| 2位 | アサギアゲハ |
| 3位 | アサギアゲハ |
| 4位 | アサギアゲハ |
| 5位 | アサギアゲハ |
| 6位 | アサギアゲハ |
| 7位 | アサギアゲハ |
| 8位 | アサギアゲハ |
| 9位 | アサギアゲハ |
| 10位 | アサギアゲハ |

六甲山のチョウ総選挙は、毎年、県立六甲山ビジターセンターで実施されている。今年も、9月14日(土)に、今年最後の総選挙が行われた。当日は、多くの観客が訪れ、投票した。結果は、ミヤマカラスアゲハが、1位の栄冠を手にした。

ミヤマカラスアゲハは、体長約10センチ、翅の裏側に黒い帯が入る。幼虫は、黒い体に赤い点がある。成虫は、黒い翅に赤い帯が入る。ミヤマカラスアゲハは、六甲山系で多く見られるチョウの1種である。

総選挙の結果は、以下の通りである。

※チョウと食草の関係についてがわかりやすい解説した上の「神戸・六甲山の蝶と食草Ⅱ」のパンフレットを六甲山上の県立六甲山ガイドハウスで配布中です。

神戸・六甲山系の蝶と食草Ⅱ

| | |
|------------|----------------------------------|
| 1. リトコウアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食すなど、アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 2. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 3. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 4. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 5. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 6. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 7. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 8. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 9. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |
| 10. アサギアゲハ | 食草: アサギアゲハの幼虫が食す。 |

六甲山の蝶と食草の関係についてがわかりやすい解説した上の「神戸・六甲山の蝶と食草Ⅱ」のパンフレットを六甲山上の県立六甲山ガイドハウスで配布中です。

資料を最後までご覧いただきありがとうございました。これをきっかけになり、「六甲山系のチョウ」、「生命と育ちを感じる自然体験活動」などに関心を深めていただければ幸いです。活動発表の中で、質問やご不明な点があれば橋本までお問合せ下さい。(連絡先電話:090-5054-0906)